



高校と大学の接続に関して思うこと ～あるアドミッションセンター教員の独り言～

林 篤裕

(九州大学 基幹教育院
& アドミッションセンター)

(21世紀プログラム主導教員)

e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp



1

【概要】14:00-15:20(80分)

- ◆ 今までも、そしてこれからも高校教員にとって生徒への進路指導は非常に重い業務であると推察している。高大接続の実現例として大学訪問や進学説明会、オープンキャンパス等が近年では頻りに開催されている。生徒の興味に合致した大学・学部に進学してもらうためにこのようなイベントは良い機会になっている側面があるのも事実であろう。また、大学教員の出前講義やSSHの指定を受けている高校においては、大学に依頼して一部事業を実施していたりもする(SGHも?)。
- ◆ 改めてこのような状況を俯瞰してみて、高校と大学の関係は今後どうあるべきなのだろうか。アドミッションセンターの教員として日頃思うところをいくつか紹介し、高校現場におられる皆様のご意見もお聞きかせいただき、将来像を一緒に考えてみたいと思う。
- ◆ また、学部横断型教育として全国的に注目されている九州大学の「21世紀プログラム」についてもその理念や運営方法等を説明し魅力の一端を紹介する。
- ◆ 今回の講演が多少なりとも先生方との考える端緒になれば幸いである。

2

【講演内容(案)】

九州大学

- 01) 九大概要
- 02) 入試概要
- 03) AO入試の性質
- 04) 21世紀プログラム
～学部横断型教育～

その他

- 21) 大学への入学に何を期待するのか
- 22) モチベーションの持たせ方
- 23) 文理選択時期。早期化に対する危惧。
- 24) 「ゆとり世代」、「内向き」という呼称
- 25) 就学援助率と成績の関係
- 99) 高校教員への期待

高大連携

- 11) オープンキャンパス
- 12) 進学説明会
- 13) 大学訪問: 生徒、PTA
- 14) 出前講義
- 15) SSH (Super Science High School)

3

当日の提示資料について

- ◆ 今回の研究会参加に関し、いくつかの事項について講演させていただこうと考えております。しかし、先生方のご興味・関心に合うかも判りませんし、ページ数も増えそうですので、資源節約の観点から印刷したものを会場で配布することは控え、当日の提示資料を以下URLに掲載しておくことにしました。
- ◆ お手数ですが、必要に応じてアクセスしていただき、提示資料をダウンロード後必要部分を印刷する等してお使いいただければと思います。

<http://artsci.kyushu-u.ac.jp/~hayashi/hai fu/#Kago1407>

【注:すべて半角文字です】

4